

創立90周年を迎える日本生物工学会

10月23～26日に神戸国際会議場で記念大会開催

第64回日本生物工学会大会(創立90周年記念大会)が10月23～26日の4日間、神戸国際会議場(神戸市中央区)で開催される。同大会は学会創立90周年の記念大会として「日本から世界へ」「学から産へ」「シニアから若手へ」「頑張ろうニッポン」をコンセプトとして開かれる。

10月23日の記念式典では、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の川口淳一郎教授が『「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復宇宙旅行、その7年の歩み』をテ-

マに特別講演するほか、大会期間を通じて国際シンポジウム「International Symposium on Biotechnology for Green Growth」(科学技術振興機構との共催)、16件のシンポジウム、特別展示などが行われる。

シンポジウムのテーマなどは以下の通り。カッコ内はオーガナイザーの所属機関。

【本部企画シンポジウム】

▷醸造における品質へのこだ



わりとその製造技術(サントリー、月桂冠、白鶴酒造、酒類総研)▷持続可能なまちづくりを目指すバイオマスタウン構想(奈良先端大、熊本大、岡山大)▷産学の研究・開発の現状と連携、学生への期待について(サントリー、アサヒグループ、アステラス製薬)▷培養と

そのダウンストリームプロセスの最前線(東大、味の素、パイオット、丸菱バイオエンジ)

【一般公募シンポジウム】

▷実用化に資する医薬品生産培養技術の課題と展開▷D-アミノ酸に着目した新規食品機能の開発:現状と展望▷デザインブルバイオインターフェース▷真核微生物に学ぶ新しいストレス適応機構と発酵・醸造食品への応用▷パイオフィルム感染症の新治療戦略▷耐熱性微生物が拓く高温発酵の世界▷多様な酵母の研究に期待する。

▷多様なバイオディーゼル燃料がポスト化石燃料時代の地球に果たす役割▷日本から発信す



る、エネルギー革新省エネ型炭素固定とe-バイオの融合▷生産性向上と実現する微生物培養技術▷産業再生化の鍵となる環境浄化技術-バイオレメディエーション▷幹細胞産業における培養工学の研究動向。

編集協力:日本生物工学会
www.sbj.or.jp

次回は10月17日に掲載